10 de Outubro de 1924 N.392

Nippak - Shimbun

Director Jack Miura
Caixa 375 S.Paulo Brazil

日伯新聞

聖市エルネストデカイシヤ三七五番地
カストリ街一八
發行所
日伯新聞社

本紙定價
半ヶ年十ミル
壹年拾八ミル

歸國者を顧みて

此頃日本向けの便船は大抵多數の歸國者を積んで行く、多い時は百人百五十人少い時でも五六十人の歸國者がある、新移民の渡來も年末から來年にかけては少し續つて來る樣子であるが今日迄の所は多くて二三百人少い時は六七十人しかない、惡くすると來る者より歸る者の方が多いことなどがある本邦移民事業の振はざる殆んどお話にならぬ程である、何故に斯うも不振なのか、いろ〳〵原因はあるが今はそれを問はない。

只歸國者の多いこと而してそれが何れも一時歸國ではなく引揚歸國であることが特に吾人の注意を惹くのである、此の現象は今に始つたことでなく抑も伯國本邦移民開始以來のもので今後も尙相當永續するであらうから別に不思議がる必要はないが之れもるが爲に本邦移殖民は他に較べて數等を輸するのである、腰掛的出稼ぎ、それは日本移殖民の總てが持つて居る不言の信念である。儲けたら歸る、歸つて生れ本國で安樂に餘生を送らふといふが十中八九と云ひ度ひが十中の十迄の考である、偶々永住の決心で渡伯などと殊勝氣なことを口走る者もあるが腹の底をわつて見れば矢張り前記の考へが堅く横つておるのである、であるから何れの殖民地を覗いて見ても本邦人の家屋は多く假りの住ひであつて決して永住的の性質を表はして居ない。遲かれ早かれ伯國を去るのだ住居などはどうでもよい雨露を凌げば足りる、住居に金をかけるなんて馬鹿なことだ、其金を銀行にでも預けて利殖でも圖る方が、後來歸國時に便利であると云ふのが在伯本邦移民一般の心情である。

最近引上歸國者の激增したことは久しく目星しい儲もなかつた本邦移民が近年打續く好景氣の爲め愛加減がよくなり、茲に豫ねての希望を實現し始めたもので、今後若し依然として好景氣が續けば恐らく此傾向は[illegible]になるものと見なければならぬ、素より日本人が移民として海外に渡航するは他國民のそれと異り本國を呪咀して出るものではない迫害追放を受けてホリ出されるものでもない、更に又本國を貪えないから外國移民になると云ふのでは無論無い、從つて本國に對する戀々の情緒は何人も持つておることは認めねばならぬが、その之あるが爲め何時迄も腰掛的出稼的根性から一歩も進み得ないことは情ない次第である。

本邦移民が腰掛的出稼的根性から解放されぬ爲め、伸ぶべくして伸びず、イザ是からといふ時期になつて大抵は腰を折つて仕舞ひ、新に來る者も來る者も殆んど同じ道程を辿り恰も寡の河原の石積みと一般、三ツ四ツ積んだかと思ふと又始めからやり直さねばならぬ樣な次第で何時迄經つても强固なる基礎を作り得ない實に腰掛的出稼根性こそは本邦移民の發展を阻害する根本痼疾で此根性が拔けない限り世界の移民運動に立交り他國民と競爭など思ひも寄ちぬことと云はねばならない、一日も早く此の根性を取除き世界を家として怖れず何國に於てもより好き生活を樂しみ國家國民の聲價を揚げるでなければ移民國としては立行かない。

移民の奬勵もさることながら反面には此種の惰性に向つて斧鉞を加へることは極力時代後れの根性を征伐すると共に努めて來たる可き新時代に適應する理想を吹き込む必要がある、今俄かに出稼根性を矯め直すことは元より不可能であるが政府者若し茲に看る所があるなら其方法は決して少くない筈である、例令ば永久的に事業を繼續して行く者か親戚故舊訪問先祖の墓詣りの爲めに歸國せんとする場合歸國運賃を半減するか或は全額補助するのも一法であらう、其他永住事業家に對しては努めて之を保護奬勵を加ふると共に隨時之を表彰するなども便法であらう、先頃現はれた變手古な某特志家の金などは無論永住の事業家を助けて然る可きものである、其他數へ來らば出稼根性を征伐し永住を勸める方法には決して少くない、只それ政府當局が之を爲すと爲さざるとにあるのみだ、若し夫れ在伯帝國官吏か『私筆自[illegible]』が出稼者で出稼根性しか持たないのだ、どうして他人に出稼根性は止めろと勸められるものか」と云ふならば吾人亦何をか云はんやである、而も事實は甚だ之に近いものがある讀者以て如何となす。

▲母國近情▼

◉米穀法改正

農村振興の一策として現内閣は農村振興問題についても徹底的方策を樹立せんとして目下種々調査考究中であるが現在の米穀法の一部改正もその一策として目下考慮されて居る問題である即ち現在の米穀法は米穀の價額を度外視して量のみを考慮し立法した嫌ひあるから何等米價調節の効果なく農民救濟の意義をなさないのであるが今後は充分此等の點を考慮して改正を行はんとする方針にて年末の通常議會に提出の運びに至るであらうと

◉興銀公社債調査

七ヶ月に總額十三億圓興業銀行は七月中公債、社債の調査を遂げたがその結果に依ると本年七月中の公社債發行高七千六百万圓、本年一月よりの發行高總額十二億八千三百萬圓に上つてゐる

◉普選即行知事公選決議

全國町村會議は普選即行と知事公選[illegible]を決議して散會[illegible]

◉日本在鄉軍人團の年金增加運動開始

輿論は一斉に賛意を表す

日本在鄉軍人團は軍功の爲に金鵄勳章其他の表彰を受けつゝあるも恩給令不充分のために最近軍人に對する年金增加運動を開始したり因に陸海軍高級將校の位階に伴ふ下賜金增加運動は遂に政府の認むる所となり目下是に關し考究中なるを以て是が爲めに全國陸海軍在鄉軍人の注意を喚起するに至りしものにて一般に輿論は在鄉軍人の年給增加問題に賛意を表しつゝあるも陸海軍當局者の間には賛否意見一致せず

◉内村鑑三氏米國カムレを離ず

米國生活樣式は國民を毒す

日本の基督教會を米國宣教師團より獨立せしむべしと大膽に主張しつゝある日本基督教界の元老内村鑑三氏は國民新聞に寄書し過去五年間我國民生活に傳染しつゝある米國家主義を撲滅すべしと高唱し排米運動に論及し米國生活の樣式及その文明は米國製品中の何物よりも有毒なり然るに我國が如何に米國化しつゝあるかを感知せる國民は極めて少し、新聞の廣告は米國式を模倣し新聞雜誌の見出しも米國風の煽動的になりつゝあり此點に於ては英國風が遙に米國のそれに優れ我國の新聞は須らく温健にして尊敬すべき倫敦タイムス或はマンチエスター・ガーヂアン紙に倣ふべきなりと論せり

◉横濱港生糸輸出

八月中三萬八千九百餘俵

内米國向は三萬五千餘俵

八月中横濱港輸出生絲は米國向き三萬五千二百四十梱、歐洲向は三千六百九十一梱で合計三萬八千九百三十一梱を示した

◉樺太官林疑獄

樺太官有森林の賣却擔下げ事件につき疑獄起り樺太廳の前官吏二名拘引されたり政友本黨所屬の某代議士も此事件に關係あるが本黨側は本件の[illegible]系の[illegible]社ありとて暗に威嚇し居れり。

◉東京市の犯罪激增

震災後生活狀態激變の爲か

警視廳の最近公表する所に依れば震災後東京市民の生活狀態激變せる爲めか最近市内の犯罪數激增し廿日間に强盜二十六件、竊盜三千八百九十一件ありて是を昨年の同期間に比較すれば一千件の增加を示せり因に犯罪增加の一原因は震災後居住區劃が變更し隣家との交誼なきに乘じ犯罪を行ひしもの多しと

◉東京市の人口百七十萬

震災の影響を受け東京市の人口は昨年の大震災の影響を受け東京市の人口は[illegible]にて百七十万人にして三十萬の減少を見但し郡部にては三十萬の增加をなせり。

◉嗜眠性腦膜炎は治療し得

仁本醫學博士は全國に流行中にて患者の大部分は死亡する嗜眠性腦膜炎は治療の方法ありと公表せり

◉小説家島田清次郎縊首

既報發狂後精神病院に收容せられたる小説家島田清次郎は院内にて縊首して自殺したりとの報あり

◉火星の通信を笑ふ

地球と最短距離に來りたる火星に對し東京天文學者は熱心に觀測したるが諸外國よりの火星の通信ありたりとの説に對し左樣な事なしとて冷笑し居れり

◉王府日本間無電成功

王府日本間のラヂオ通信は平磯受信局で明かに聽取することが出來たが、盤城無線電信局では受信が出來なかつた

人間追想

(三)　至文生

◉西有禪師

▲從來の宗教は、殊に西洋に於ては對立的の救濟主を立て、外的存在の神を崇拜したのであるが、宗教としてはそれは第二義的であり、もはや衰滅すべき舊宗教であることは、どこかで論じた。

▲時に日本で發達した禪宗が、他等の對立的救濟者を立てず、自己全部を擧げて大生命に肉迫し、自己の上に第一義を表現せんとするものがあるのは、世界將來の宗教の上に、大なる暗示を與ふるものである。

▲私は禪宗を奉ずるものではないがこういふ意味で禪門大德に謁見したことは少くない。そのうち西有穆山禪師は實に比類なき大宗匠であつた

▲西有禪師に就ては記すべきことも少くはない。然し此の門に入つた人でなければ分らぬやうな事は、こゝに記しても讀者の迷惑となるだけであるから止める。

▲ただ老師の臨終に到つては、實に特筆すべきものがある。師の遷化は明治の末年であつたが、たしか五月であつたと思ふ。師は月末の廿五六日頃に病床に臥し、此度はいよ〳〵大事到來であることを親近の門弟に告げられた。

▲そこで親しく教を蒙つたものは横濱西有寺に集まつたが、さて師は別段大病といふではない。年は尤も九十といふ高齢であつた、醫者に老師はどこがお悪いかと聞くと、どこもお悪くはないといふ。

▲それは變ぢやないかといふと、醫師曰く、イヤ老師のおからだばかりは分りません。この前御病氣の時に私等の診斷では到底再起の望なしと見て、老師の事ですから、其事を申しますと、老師は、今度はおれは死なないよと申されました、果して其言の如くでありました。今度は御自分から再び起たぬと申されますから多分今度は望はありますまいと思ひますといふ。

▲廿八日は無言の行で過された。廿九日には弟子を枕許に集めて、誰ぞ淨瑠璃はやらんかと言はれた。誰も存じもせんといふと、無粹な奴らばかりぢやのうと笑はれた。

▲三十日の朝、愈々本日大事到來すべしと宣言し、本尊に禮し愈々入寂の時はアゴで知らせるから觀音の十大願を唱へよと言はれた。午後果して其事を知らせらるゝ如き面持であつたから弟子一同涙ながらに十大願を三たび唱へたが、三たび目のはじまりに合掌したるまゝ眠るが如く大往生を遂げられた。

Dr. Arthur Zapponi
Medico, Operador, Parteiro
醫師
アルツトル ザッポーニ
◉診療所 聖市サンベント街四十番二十二十一番室 電話セントラル六三二一 (午前三時半～五時迄)
◉自宅 聖市アベニーダグランデ ルベスターナ街一五五 (自午後八時至九時 自午後一時至二時)

VINHO BI-DIGESTIVO CASTIGLIONE
一瓶を試みよ胃病立處に跡を絶たん
健胃劑
として輸入せらるゝ外國品の數多けれど其效果の確實顯著なる本劑の右に出づるものなしと。
胃弱・消化不良・胃擾亂・食欲減退・病後衰弱・氣力乏失・器關虛弱等の症狀に苦む人の必須藥。
健胃劑の王
發賣元
PHARMACIA E DROGARIA CASTIGLIONE
Rua S. Bento N. 41-A S.PAULO

▲最近電報▼

●英國內閣瓦壞か

共產主義新聞記者檢擧事件に關し下院は三百六十七票を以て自由黨の修正案を可決し政府黨は百九十八票にて敗れたり (倫敦電報)

●不信認案通過す

下院は三百九十九票對百九十八票を以てマク勞働黨內閣不信認案を可決す (仝上)

●議會解散

首相マクドナル氏は自由保守兩黨の不信認を却け改めて國民の信認を問ふ可く議會解散を皇帝に奏請する所あり皇帝之を許可す (仝上)

●總選擧は本月二十九日

新總選擧は十月二十九日に決定せり (仝上)

現在英國の黨派別は保守黨二百五十六自由黨百九十三勞働黨百五十八無所屬六にして總選擧の結果勞働黨大數を得ざれば現內閣は即時辭職する筈である (記者)

▲內外雜俎▼

●ソロカバナ鐵道改良

修繕費として十三万コントス支出

州內交通運輸機關の中では劣惡なる方の筆頭として數へられてるソロカバナ鐵道は前年來州政府の手に回收せられてから更に不良に陷つたる觀あり殊に近年パラナ州境の發展につれ益〻之れが改良の必要を認められたる爲め州政府も捨て〻は置けず今年九月二三年度珈琲は積載の儘にあり同十三万コントスを支出して同鐵道に一大改良を加へることゝなり州議會は既に第二讀會を通過したれば翌決定せるものと見て差支なしと

●伊伯移民協定

日滯に解決

既報の如く伊伯移民協定は双方の主張一致し茲に圓滿なる解決を遂げ既に聯邦外務大臣パシエコ氏より羅馬駐在伯國大使に之れが批准を電命する所あり近く實行に入るべしと右に付き聖州統領より聯邦統領宛伊伯移民協定解決を祝す旨の電報を發した

●珈琲問題落着

調節問題に何等かの變化あるべしと の世評は一時リオ、サンパウロを動しこれが爲め藏相サンポイオ氏伯國銀行頭取シンシナトプラガ氏の桂冠を見る可しなど噂されたるものなるが聯邦政府側でも此際聖州側の希望を無視するの不利なるを悟り目出度妥協した

●北西線の運搬不足

ブラジル聖市農會では北西鐵道輸送能力不足の爲め同地方民の蒙りつゝある損害が少からずとて諸方よりの苦情に接せる所から斯くては該線附近農家は將來の不安を見越し植付けをせぬことがあつては由々敷大問題なりとし四日大統領及び交通大臣宛に北西線一般の運輸機關不能の爲め

●國際聯盟に成功

日本新聞紙の論評

(總領事館電)

國際聯盟議定書に關し二日の東京日々は議定書は歐洲のみを眼中に措て起草せられたるが故に日本としては不利益此上もないのであつたが此點に關する日本の主張の貫徹を見たのは世界平和の爲に祝福せざるを得ない と述べ時事は列國の妥協的態度に依り兎に角日本の主張が容れられたのは會議の成功として祝福に値すと述べ更に日本が此修正を提出した眞意に關し米國濠洲加奈陀等の排日に對抗するものである憶測として種々の批評を試みるものあるは遺憾であると述べた

●聯邦豫算案

聯邦政府豫算案は議員の横着心から毎年議會末期に上程審議するを例とせるが本年も亦其例に漏れず明年度豫算は去十日漸く第二讀會を濟した

●衞生局實驗課長任命

ジョゼ、ギマラエンス、ジュニオル博士は現任の決定迄、衞生局細菌研究所長に任命され同時に同局檢査官なる、アントニオバレット博士は永年の功勞に依り檢査官に昇進した

●珈琲の賣行

九月二十九日から今月四日迄の一週間に、リオ市取引處で七五、〇〇〇袋の珈琲と、砂糖二一、〇〇〇袋賣り捌かれた。

話の種

▲大分お古い所であるがソロカバナ線のアギヤ板東喜內君が土地賣りをやつた時のことゝ

▲何でも地權のことか何かでドクトル石橋恒四郎君の世話になつたそうな▲此取組は回向院の角力以上なのでどちらが勝つか見物手に汗を握つて居たグナ▲そうすると上には上のあるもので喜內君とう〳〵背負投を喰ひマンマと五百ミル程してやられ喜內君『コリヤいけねへ日が惡いや』

◆綿作地賣却

ソロカバナ線ボルトフエース驛から四キロ綿作其他雜穀栽培に適當する土地をロッテで年賦拂ひに賣ります

地權は確實で價額も割安です御希望の方は左記へ問合せ下さい

聖市ルアサンペント四十番
二階二十番室
ラベーロ、シントラ
又は
ボルトフエリース市
フランシスコ、ノゲイラ

LOJA DA LUA

Rua do Theatro N. 42

◇吳服物一切

▽木綿及絹織物類
▽ブリン「カーキ色各種」
▽女、小供出來合着
▽夜具類一切
▽毛絲及各種糸類
▽男子用カミーザ
▽服地其他いろ〳〵取揃へてあります

日本人各位には特別勉强いたします

聖市コンデ坂上四二

◆當社貸付移殖民諸君に謹告◆

當社は貸金整理の必要上返濟不良若くは辨濟の誠意なき者は御氣の毒乍ら本國保証人から頂戴することに致しました本年三月から或地方に對しては强制執行の取立を開始しましたが漸次他地方にも及ぼす手筈になつてゐます後で色々御苦情のない樣豫め御含み置きを願ひます

若し何等かの事情の爲めに拂込みの出來ぬ諸君はその事情を詳記して當店宛御申越下さい日本で取立の際の參考に致します

大正十三年九月

海外興業株式會社伯國支店
Kaigai Kogyo Kaisha
Caixa 1082 S. Paulo

コロノ募集

當耕地に於て明年度コロノを募集す

一、カツフエー、ホルマーダ
除草賃千本に付年二百五十ミルレース但し全部にフエジョンの間作を許す
二、カフエーホルマデーニヤ
二百ミルレース
各一ルーア置きに一列のミーリョ栽培を許可す
三、二列のフエジョンタアセッカ、フエジョンダスアグアスを植ふることを得但しミーリョのルーアに植ふることを得ず
四、新カツフエー 百五十ミルレース
五、各ルーアに二列のミーリョ及び二列のフイジョン(アグア及びセッカ)を植ふることを得
カフエー一袋採集金賃二ミルレースとす
日賃 五ミルレースとす
支拂 二ヶ月一回
醫師無料診察、學校月謝無し

バルボーザ耕地株式會社

Estação de Ourinhos L. Sorocabana

土地格安賣却

○位置、交通 ピラカイヤ驛より十二基、自動車道路有り、サンパウロより自動車にて三時間半。

○面積 八百アルケーレス、(內百アルケーレスは、處女林にして三分の一は珈琲植付に適す) ガード百五十頭內外あり、亦ビンガ製造機もあり。

○拂込 全額三百コントスにて百コントス即時拂ひ、殘額は賃貸す。

○地權 確實。

○別に コチヤより一ングアの處にも良き土地あり。

○面積 四十アルケーレス (事實はより以上あるべし) 內十アルケーレスは處女林にして車道あり、自動車は一里手前迄通ふ。

○拂込 二十八コントス現金或は半金拂にても可。

○地權 確實

右の二土地至急賣り度し

聖市近傍の事なれば材木丈にても地價の二倍の賣上高はあります、御都合にては全材木は弊店にて御買ひ受け申しても差支へありません、委細は御手紙或は御來談下さい。

カーザ東京 杉本芳之助
R B. de Itaqetinhga, 20, Caixa 1005 S. Paulo

VENDEM-SE TERRAS NA L. NOROESTE

Superiores para cultura de Café e cereaes, criação de porcos etc., nas Fasendas S. Joaquim e Mirandopolis.

Propriedade de Senador R. Miranda e Deputado L. Miranda

ノロエステ線土地賣却

一、位置 ノロエステ線バクリー、コトヴエロ、ルツサンヴギヤ、マツシヤード・デ・メーロの各驛を上地內に有し總面積五万アルケルス 下はチエテ河より上山脈地に到る、低地三百米突より高地壹百五十米突迄地は上院議員ロドルフオ・ミランダ氏及令息下院議員ヘイス・ミランダ兩氏の地にして地券確實正確保證は一般有識者の證明する所です

二、地味 最良肥沃にして珈琲、穀物類、養豚、牧畜に適當なる地にてパウダーリヨ、セオロンシヤンガーダ、フイゲーラ等肥沃を證據立つる草木に覆はれ低地高地の御希望に應じます。

三、地割 一區十アルケルスを最少限度として幾千アルクレスにても御望みに應じ御視察の上御申込次第拙者實地に於て分割致します。

四、視察 の際は當アラサツーバ驛にて事務所御訪問下されば一般御便宜取計ふべく當市より自動車道あり土地內四方を通すれば御希望次第御案內申す

五、支拂 高低の差に依て價格定せず初年入殖と同時に三分一及半金殘額は三ヶ年拂御思考に應ず

六、將來の發展 ノロエステ保線課にてアラサツーバ驛より山脈線に變更する設計ありて其變更線は本地內を通過して將來マトグロッソ州の進化と共に農產物の輸出に最も有望の地點です。

七、本地は小生ロドルフオ・ミランダ氏より購入設計分割其他道路一般土木事務引き受け居り職權上全般の責任を負ひます、御視察し上多小に拘らず御求めの程願上げます。御照會被下れば早速詳細說明測量濟の地圖同封にて御送附申し上ます。

▲事務所 ノロエステ線ルツサンヴイル驛拾三基米
土木主任技師 林田鎭雄
兼支配代理人 SHIZUO HAYASHIDA
Est. Lussanvira L. Noroeste

◆讀者のこえ◆

◆斷想

ほし

○

『動かざるものは食ふべからず』とは獨ナポレオンエット露西亞の信條でない、鍬取り、算盤採り、筆執らば身をその渦卷に投じ正邪に皎かなる利刀を手に緊張を要する。

○

我等は生そのものゝ活動に等しきものであらねばならぬ、一秒の後に一秒前の思想を脱した姿があつて欲しい。不定見、好い加減の調子でやつてゐる間、何時まで立つても進展は覺付かない、寧しろ嬰退を意味する。

○

よく空想に空想を重ね無闇矢鱈に兀奮し、勇躍鞭舞し、夢の姿に恍惚とし、身も心も天外に彷徨よはすことがある。此の冗な熱を燃やす間にどれ程の時を送り幾何のエネルギーを消耗して行くことか。

○

歡びを頒つことは出來るが、苦しみ悲しみをどうして頒つことが出來やう。然し人は歡びを頒たうとはせず、淋しみ苦しみそして悲しみを頒ち薄らげやうとする、茲にも生に就着する醜い心の弱さがうなづかれる。

○

鬼上生活者の犯したあらゆる罪業を信心の中に又菩提寺に納めて聖人じみた面を下げ只生命を繼いでゐる中老人をみると醜くてたまらない。血に燃ゆる若人にもこんな眞似をしてゐる者があるやうだ。

○

淋しさと一本の杖とを手にして山を駈け下りて來る者、歡びと花束とを手にして待ち構へて居る者この二つの影は私自身のやうにも思ふ。この孤獨を私は樂しむ。

○

傳統とか慣習とかそして羈絆とかの舊い言葉を凡て燒き棄てよ。然も身に纏ふ總てをかなぐり捨てよ。行き詰つた餘りにダレ氣味になつた空氣に。思ひ切つた旋風の渦を欲する革命中混亂や戰鬪は、我等を脅やかし不安に誘ふものでなくて、勇躍努力を齎らす有機的なものである。

聖州雜記

（一）

馬骨

一枚の卒業證書と共に學校を追ひ出された、追ひ出されてみると世間知らずの俺には西東の見當がつきかねた。親爺が事業に失敗してから不幸つゞきでこれはと云つてよい目に遭つたことはない、人は冷たいと思ふより外に何も殘らなかつた。俺もお坊ッちやん時代にはまめに働く奴が大きな家に住んで怠者か小さな家に住むと思つて、俺だつて働きさえすれば三井や三菱なんてお金持ちになれる位に思つてゐた。處がそれはすべて空想で現實に當つて見ると働いても食えない奴もあり息けても食ひ扶

ランプの下に

夕美

子供のうめき聲をも夢の樣にきいて彼の女は靜に默想を續ける、此は現實か？こは夢か？其處には若い美しい一人の女性を見る、希望の中心點もそこにある、總てが喜びと感謝で送り得た、バージン時代がある、彼女は思はずオヽと叫んで頭を壓へた……、今は〳〵！

彼の女は靜かに自分の子の寢姿を見た、夫婦のかすがいとしての此子供なんだ自分はすべての希望も思想も捨て、此子故に生きねばいけないのだ、

どうしても自分はあらゆる事物と此の子供とに代つて生きねばいけないのだと思ふ、けれどそう彼女が思へば思ふ程其處へ聲がする「一寸あなたはあのうるはしかつたバラの花時代を忘れましたか、あの華かな乙女時代を、純な瞳を夢の國に彷徨よはしたあの時を、あの時のあなたは今の樣に失望的ではなかつたでせう少くとも失望より希望を生み出し得たではないでせうか？又苦しみをも樂しみへと導き得たではないでせうか？」

彼女は涙して此の聲をきいた、ほんとうだあの時の自分はもつと生きて居た、そしてもつと活動的だつた赤い〳〵血潮が常に滾々とハートに湧いて居た、もう一度あの紅い血潮を此のハートに藩たそう、退嬰的だつた今迄の自分は餘りに小さいもの迄に抱泥されて來た。彼女の目は輝いた、そして流れた、オヽまばゆいばかりの希望の光だ、すべてが創造の光りだ。すべてを創造せよの聲をも彼女は心持よく聞き得る樣になつた之は夢か、又現實か？

彼女は再び默想し數分時を

子供は熱も多少下つたかスヤ〳〵と安らかな小さいいびきをつづけて居る、花園を徨つておるのだらう天國の夢にあそんで居るのだらう彼の女は生れかわつた樣に活氣づいて室内をすつと見渡した

オヽ美わしい吾が前途よ！すえぞ〳〵全身の力を必つて創造をと彼の女は心に叫ぶのだつた

……

淡いランプの光りがだるそうに光を放つて居る下にひとり子供はしづかな笑を浮べて居る

▲日伯詩壇▼

影繪

椎野正

朧な下弦の月靜かに
淡く光りを投げ
乳白の霧は低く
アスファルトの街道を這ひ
街燈の瓦斯は
蒼白く夢に泣く。
二條の電軌道は
白銀の色し
ドドド、と
遠雷の音して
オトモベルは
霧かも霧に消える。
行き交ふ
人々の姿は
影繪の如く動き
四辻に立つ
夜警巡査の角燈
鈍く靜に眠る。
年老いた
一人の
掃除夫
白い息を
吐き々々
夜もすがらこうして
街道かも街道を
正しく掃ひを
殘して行く
夜は更りて聲なし

▲日伯俳壇▼

◉トランスヴアル俳句會

■日永

○永き日の暮れて近まる船頭歌　東南
○水車近く家鳴鳴き居る日永かな　信山
○南國や牛の行軍日の永し　二葉
○出産を聞く仕事場や日の永き　靜波
○南國に病む友のあり日の永き　信山

■東風

○初東風や法燈ゆらぐ大廣間　東南
○東風吹くや日毎にぬるむ水の脚　觀山
○五日帆に東風はらませて船出哉　東南
○化粧する晝の野風呂や東風渡る　坊

■猫

○聲かくれば留守居猫の泣き出る　東南
○戸開くれば猫一匹逃げたり雨はきだ　天馬
○徒々に犬と戯る春の猫　信山
○猫眠る午後の日ぎしや椽の端　旭童
○晩鐘に耳傾けし春の猫　信山

■題　霞、淡雪

○プロペラの音のみ殘して霞みけり　二葉
○釣り人の日笠の浮ぶ春霞　東南
○淡雪や陽炎の立つ庭の石　信山
○一望千里風なき高原の霞かな　信山

お暇乞

私議今般家事上の都合に依り一時歸國致候に付ては諸彦より深甚なる御配慮を辱し奉萬謝候一々御禮狀差上ぐ可き筈に候處行季匆々其意を得ず不取敢以紙上御禮申上候　敬具

大正十三年十月五日
バナマ丸にて
高橋四郎吉

御禮

私事今度歸國に際し諸彦より深甚なる御芳志を辱ふし有難く奉銘謝候實は一々御禮狀差上ぐべき筈に候へ共行季早々其意を得ず不取敢以紙上御禮申上候

十月五日
鈴木愛次郎

お暇乞

私議在伯中は皆々樣より一方ならぬ御愛顧を蒙り尚歸國に際しては多大の御芳志を辱ふし奉深謝候一々御禮狀差上ぐ可き筈の處何分行李匆々の折とて其意を得ず乍略儀以紙上御挨拶に代え申候　早々

野口喜平次

追而拙者營業中御預りの御荷物は後繼者に委細依頼致し置き候間御序の節御受取被下度願上候

尋人

原籍　佐賀縣杵島郡橋下村大字義原一〇五番地
得永末吉

明治三十年十二月十五日生

右の者現住所御承知の御方は御知らせ下さい

原籍　崎玉縣北足立郡櫻水村大字佐知川一三四五番地
關根芳二

明治十二年八月廿五日生

恩給支給に關して右の者に通知し度い事がありますから現住所御承知の御方は御知らせ下さい

大正十三年十月一日
在サンパウロ
帝國總領事館

女中入用

高給支拂ふ。
委しくは面談の上。
御旅館　常盤
コンデ街四十一番　坂上

土地賣却

中央線モヂイ驛より九基米突セザールソーザ驛より四基米突の所に四アルケルスと十五アルケルス其内種芋二千俵を植え得る既墾地あり乘馬一頭に住宅其他
右大至急賣りたし
又は貸したし
中央線セザールソーザ驛
青木氏
本多慶三郎

大工入用

二三名の曹物師至急入用、委細は面談或は御手紙にて左記へ御照會
R. Sebastião Pereira 3,
S.Paulo
カーザ　ミカド

運搬用貸自動車業

市内プラサダレブブリカ三七
電話　シダーデ……三八九〇
原村喜之助

GARAGE FORMAL
Tel, Cidade 56
Praça da Republica 43

Rua B. de Carvalho No. 5
Telephone No. 156 BAURÚ
今度上記の場所に於て再び旅館開業仕り候間倍舊の御贔負賜はり度奉懇願候
（舊ホテルコングレソ）
澤尾ホテル
バウルノ〇エスラ驛前
電話……一五六

土地

一、面積　七アルケーレス。
一、位置　バウル驛より二ツ目驛
バウリスタ線ゴヤナス驛より三キロメートルの所。
一、全面積の七割は珈琲栽培に適す。御希望の方は下名へ御問合せ下さい。
バウル市郵函六八番
澤尾磯七

■日本雜貨　獨逸品各種　賣藥、罐詰類、色々玩具類、額面用ビードロ、額椽
バウルー市バチスタ、ダ、カルバリオ一四番
柳木商店

Y. KINJO
DENTISTA
齒科醫
聖市アッフオンソ　ペンナ街三七
電話　シダーデ　六二六七
金城山戸

東京館
電話シダデ一四七六番
ルアマウア二九一番
聖市ソロカバナ驛前

廣島屋旅館
聖市、コンセレイ〇、ゴタード街十六番（コンテ坂上）
小川源右工門

■こんにやく製造販賣もいたします■
聖市コンデ、デ、サルゼーダス街五三番
大和旅館
防迫健造
電話セント五八一九

成功館
內國產鰹節製造元
古謝將義
電話二〇〇八番
サントス市ラルゴ　セッテ　デセッランブ〇一五

御旅館常盤
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街四拾壹番地（坂上）
郵便私書函　壹八五〇

御旅館上地
聖市、ルア・ボニータ十一番
郵函　一二二五
電話（せんさ）五七〇一

◆雜報◆

◉暑苦しい寄合ひ

去七日コンデの中央同志會では顔役全部が寄合ひ深更迄頑を集めて相談をしてゐたので又候總領事館から借りた金の始末に付いて話合つたのだとか、聞く所によると臨時救濟會が責任を以て借りて又貸した金が二月餘も過ぎた今日大部分はウントストンも返しておらず其の爲め代表に立つた金のある連中氣が氣でなく惡くすると自腹を切らねばならぬので大にアワテ始めサテこそ寄合相談を催した譯なりと何でも革命當時コンデは一向に行詰つて居らず却つてバクチが盛んであつた程なるがコンデの金持連自分の金を借りられては大變なので領事館の金で肩代りをしたのだと云ふ評判である何れにしても此金が全部キレイに返へせるにしても世話人の骨の折れる事中々なるべし

◉新同胞着　五日サントス入港バナマ丸で新同胞六十九名着幸にして病氣もなく去る十日それ〴〵耕地に向け出發せり

◉永田稠氏病む　海外協會の同氏は前週末から發熱の氣味で旅館常盤に臥床一時は發熱三十九度にも上つたが昨今輕快に趣いた由。その爲めソロカバナ方面の土地檢分は參謀輪湖俊五郎氏が出張することゝなり前週出發したりと

◉金子保三郎氏歸國　週刊日本を出して居た金子保三郎氏は家事上の都合で去る八日のタコマ丸で家族同伴歸國一二年すれば又來る由

◉三菱社員來聖　三菱合資會社員多賀秀孝氏は去五日バナマ丸で來伯當分サンパウロに滯在すると

◉聖報社の活字到着　かねて日本へ註文してあつた同社の活字は此程愈々到着した由なるが此頃紙面を縮めてるのは活字新聞にする準備の爲めなりと

◉江戸長崎を掛け持ち　ノロエスラ日本人會常任幹事兼大使館お雇ひ通辨粟津金六氏は未だに病院のことか諦められずノロエスラ日本人會常任幹事の肩書を振り廻しおるがそれを又ノロエスラの邦人が大使館員が幹事だと云ふことが餘程うれしいと見えお名前拜借で納つておる由江戸に居て長崎の幹事粟津氏毎月一回ノロエスラ出張の要ありとの評判

◉女教員ようのピストル沙汰　元領事館員五反田貴己氏の女中をして居た犬丸ヨチは亭主の松永某と別れて以來ソロカバナ線サンタクルーズリオバルドに落ち付いて居たる所かねてからヨチに横戀慕をして居た某が係りシツコク付け廻るので一發ドンとお見舞し一度はカデイヤに引かれたが女のことで旨く無罪になつたのを同地の邦人が承知せず此頃改めて告訴した由何でも裏面には大分込入つた事情がある模樣で所管パウル領事館でも首をヒネツて居れりと

◉漸く雨期に入る　降らぬ〳〵と農家でコボして居た天氣も昨今漸くのことで雨期に入り奥地迄も雨が通つた植付を待つて居た農家でば何所でも戰爭の樣な忙しさで食事する暇さへも惜しい程なりと

◉安くて上等のクレオリナ　市内ルアガゾメートル百六十八番揮旗工場で製造するクレオリナは安くて上等邦人へは特に勉強する由

◉ミカドの相談會　昨九日夜ミカド倶樂部では既報のリーグ戰に就いての下相談を兼ね來る天長の佳節に例年催され來た在留民祝賀會に對しその主催者の位置に立つ可きや否やに付き幹部と部員との意見全く一致せず互にその說をまげず遂に幹事は職を退き明、明後日中に臨時總會を開き新幹事を選び之が態度を決する筈なりと

◉爲替　正金銀行リオ支店十月七日郷里送金建相場一圓十つき伯貨三針五白四十レース

御旅館旭

加藤廣三郎
秋田幸次郎

聖市コンセイロフルタード一番
電話　セントラル四一〇二

謹告

夫金城龜急病に罹り種々手を盡し候も養生相叶はず去る十月五日死亡六日サントアナスタシオ町共同墓地に埋葬仕り候間此段辱知諸賢に謹告仕り候也

大正十三年十月五日

原籍　沖縄縣島尻郡東風平村大字小城
現住所　ソロカバナ線サントアナスタシオ驛
パイベン植民地
妻　金城カマ
從兄　普天間二浦

友人

伊覇安次郎　小林仕永　谷田幸久　人保田初三　重松辰之助　西原好次郎　平川兵助　重松榮三郎　久保田助　行德繁吉　鹿毛六藏　南島茂　鹿毛正吉　白須正記　亀島武次　久富豊太　古賀悅次　高山直平

辱知諸彦

コチア小學校
寄附金額及芳名

一金二十五針　コチア　高岡定殿
一金二十五針　仝　五十嵐殿
一金十針　モジダスクルーゼス　米田榮殿

右之通りに御座候

大正十三年十月五日

コチア日本人會

廣告

一、米糠七千五百俵
但し一俵五拾キロ入

右購入致し度きに付き持合せの方は左記へ御知らせ下さい

コチア產業組合

◈故宮崎信造氏石碑建立
寄附金募集

故大正小學校長宮崎信造氏が在聖市邦人兒童敎育の爲め盡瘁されたことは今更喋々する迄もありません、今回有志相圖り故人の石碑を建立することとしました、故人の犧牲的精神を諒解せられる大方諸賢に訴へ普く寄附金を募集します。

大正十三年十月

大正小學校後援會

(御賛成の御方は便宜上藤崎商會内長谷川末記氏宛御申込みを願ひます)

Hasegawa, Caixa Postal 344

AO EMPORIO TOSCANO

87—39. Rua General Carreiro　São Paulo

冬季衣類品々

一、上等毛織ビロード、繻珍覆布、外套、マント、合羽支立品新流行物一切、色は十八種の御好み次等にて、意匠漸新
一、御婦人、小兒用新調品外套並にマント歐洲新輸入新流行品一切。
一、毛織製上衣一切
一、男子、小兒用外套並に合羽、毛織物、「メーキー」防水織、色は何でも御好み次第。

右の外毛織製、伊太利品ラクダ毛織外套等冬物一切取揃ひてあります。

値段は破格の御勉強を致します

アオエンポオリオ
トスカノ雜貨店

聖市、ゼチラル、カルチイロ街
八七—八九ヲルゴ、チゾール

OPTIMA TERRA

Proprietario, Mendes Campos Filho & Co. Rio de Janciro

土地

ソロカバーナ線プレジデンテウエンセスラウ驛カイウアー驛プレジデンテエビタシオ驛に跨る五万アルケレスはリオ市メンデスカムポス商會の所有地で其内カイウアー驛附近二千アルケーレスを限り日本人諸君に提供します

一、十アルケーレスを一區とし日本人には特に十アルケーレス以上ならば賣却します　價額は距離の遠近に依つて高下あり停車場より五百メートル以上は一アルケール二百ミル乃至三百ミルですから早いが勝です

支拂方法　は四ケ年々賦とし入殖申込と同時に四分の一を拂ひ込めば直に地券を渡します殘額は毎年一回收穫後とし全額一時拂に對しては一割五分を割引ます

市街地として設定せられたる地區は間口二十奥行四十米突を一區とし毎區二百五十ミルにて賣却します

視察者の御便利の爲め御希望の方に限り殖民地迄の片道汽車切符を差上ます

尙詳細は下記事務所に就いて御尋ね下さい

聖市ルアジョオンブリコーラ拾一番三階一號室
岸本テイシエイラ商會
電話セントラール六一四八

追而手紙にて御照會の節は左記宛に願ひます

Kishimoto & Co. C.P. 1124 S.Paulo

出張所　Pres. Wenceslau L, Soroçabana

HATILO MIYAZAQUI

A EMPREZA PAULISTA De COLção Ltda. em RIO PREtO

土地

ノロエスラ鐵道沿線に於ける第一、第二線の土地は既に賣り盡されて最早や第三線に入つて居ります然るに此度私が九ケ年間植民事業にたづさはつて得た經驗に依つて賣り出します「パウリスタ植民會社」の土地は第一及び第二線のアラサツーバ、ビリグキ二驛に存在する地權榷實絕對健康地の左記の二ケ所であります。

▲バグアス耕地(アラサツーバ驛)

政府事業として交通省より大藏省へ向けアラサツーバ以西イタブーラ驛に至る鐵道の變更は既に明年度の豫算として提案せられた事に依つて最も其の實現の明かである此の山脈鐵道既定線の兩側地質良好五百米突乃至五百七十米突の高さのアラサツーバ驛より自動車道路に依り十八キロメートル内外の距離にある廣大なる土地。

▲ジヤンガーダ耕地(ビリグキ驛)

四百家族の同胞植民地を二キロメートル手前に控へてビリグキ驛より南に自動車道路に依り二十四キロメートルの地點にあるノロエスラ鐵道のリオフエイユ……チエテ大分水嶺の高さ九百米突以上の絕好の珈琲園地帶『エスピゴン』の部分千五百アルケーレス。

▲以上は何れも年賦拂にて契約します、尙御視察案内又は詳細は從前の通り「サンパウロ土地材木植民會社」事務所宛に御願ひします。

パウリスタ植民會社代理人　宮崎八郎

Est. Birigüy　Linha Noroeste

10 de Outubro de 1924 N.392

Nippak-Shimbun

大正十三年十月十日　金曜日　第三百九十二號

伊達騷動

錦城齋貞玉演

第八十三席

忍術を以て若君を害せんとす

……併し道益をば乎打ちに遊ばしたのに當意即妙誠に恐れ入りました」「イヤ夫も其方より内々の指圖もあり何分にも道益を生かして置いては面倒と心得て斬つて捨てた、併し斯樣相成つては愈々嚴重に相成り、何分亀千代の命を縮める譯には相成らんが、此上何とか名策はあるまいか一日も早く市正に仙臺の家督を相續させ度く思ふが、亀千代のある間は如何とも致方がない」甲「左樣でございます、然らば拙者方に養ひ置きましたる、菅野小助といふ者忍術稀代の名人でございますれば此者に申し付けて殿中に忍ばせることにいたしませう」兵「うむ然らば其小助といふものが其方かたに居るか」甲「左樣此者は伊賀流の忍術をよくいたし鼠形變、蝶形變、蝶の姿に相成り或は鼠の姿に相成りいかなる奥深き處へも忍び入り人が起きて居れば睡眠の術を施しますと此の睡眠の術を旅せば如何なる猛き武士も身躰蘆けるやうになつて眠りますと其の間に忍び入つて御曹子の首を搔くやうにいたすより外に手段がありません」兵「うむそれは幸ひ早速にその小助といふものに申し附けて一時も早く亀千代の命を絶つやうに致してもらひたい」甲「畏りましてございます」此の小助といふものは伊賀流の忍術を能くいたすもので忍術といふものは私慾の役には立たないもの、自分で何を盗んで來よう、金銀は勿論の事斯ういふものを取りたいと思つても其の術が行はれぬといふは一つの不思議、開明の今日忍術などといふことを申し上げるといかがでございますが昔名將は能く忍術者を使ひました、第一弘法大使だの或は日蓮だのといふ人でも忍術使ひを利用したといふことを申しします。釋迦といふ人が世界に現れまして誠にどうも人の氣が荒々しうございまして動もすれば人を食ふなどといふやうなことがある、其内釋尊忍術者に甲し附けて物の不思議を見せて人を歸伏せしめたと申します」兵「必ず油斷致すな」小「心得ましてございます、なれども至急と申す譯にもなりませんから、十日の内に屹度取行つて御覽に入れまする」兵「然らば小助何分にも賴むぞ一と兵部殿自身が御賴みに相成り、甲妻が日を添へ御殿の模樣等委しく教へました」甲「畏りました」兵「其の時には夜詰めをいたして居りまして誠にどうも人の氣が荒々しうございまして動もすれば人を食ふなどといふやうなことがある、其内釋尊忍術者に甲し附けて物の不思議を見せて人を歸伏せしめたと申します」兵「必ず油斷致すな」小「心得ましてございます、なれども至急と申す譯にもなりませんから、十日の内に屹度取行つて御覽に入れまする」兵「然らば小助何分にも賴むぞ一と兵部殿の石川五衛右衛門無德道人といふものが秀次に賴まれて太閤秀吉の枕元にある千鳥の香爐を忍術を以つて奪ひに這入つた、是は千鳥の香爐を盗むばかりでなく次第に依れば秀吉を殺さうといふ心算で這入りましたので其の時には夜詰めをいたして居りましたる人の内に仙石權兵衛は一人目を覺して居りまして此の人も矢張り忍術を知つて居りまして變だなと思つて居りますと一人の曲者忍んで來た、權兵衛夫に飛び掛つて曲者ッと呼ばはりながら突然押へた石川五右衛門は南無三と思つたから權兵衛を取りくぢこうとしたが中々大力無双の權兵衛放さばこそ確かりと引組んだる儘に大音を揚げて、權「曲者這入つたり各々出會ひ候へ」といふ聲に驚いて夜詰めをいたして居りましたる者目を覺して見ると權兵衛一人角力取つて居る曲者を捕へたといふが對手の姿が見えないから驚いた、○「何をして居るのだ權兵衛」と尋ねて居るのか「權」稀を尋く所の始末ではない曲者を取り押へた」と云ふ内に遂々五右衛門の術は破れて大勢の爲め高手小手に縛められて、此者は都七條の河原で油の中へ投り込まれて天麩羅の元祖となりました、此の仙石權兵衛が自身に忍術を心得て居たから五右衛門の姿が見えたのでございます、眞田幸村は霧隱才藏と云ふ者を始終側に置き、上杉謙信も同じく忍術者を始終離さず手許に置きました

萬一の時役に立つべき忍術を能く致しまする菅野小助、豫て養ひ置きましたのが原田甲妻直則、此者に云ひ附けて御殿へ忍ばせ若君龜千代を害せんと計る、此小助と云ふ者は今年三十八歳で稚成り至つて小兵の人で、俄かに廣尾の屋敷へ招かれて是々斯々の次第に依り、忍び入つて龜千代の首を取つて奥れる樣にとの兵部殿よりの賴み、首尾能く往けば三千石遣はす當坐の褒美に三百圓を遣はすと云ふ事、小助は之を聞いて承知致し、小「必ず若舘の御首をかいて持參致しまする故御安心なさるやう」兵「必ず油斷致すな」小「心得ましてございます、なれども至急と申す譯にもなりませんから、十日の内に屹度取行つて御覽に入れまする」兵「然らば小助何分にも賴むぞ一と兵部殿自身が御賴みに相成り、甲妻が日を添へ御殿の模樣等委しく教へました」甲「畏りました」兵「其の時には夜詰めをいたして居りまして誠にどうも人の氣が荒々しうございまして動もすれば人を食ふなどといふやうなことがある、其内釋尊忍術者に甲し附けて物の不思議を見せて人を歸伏せしめたと申します」兵「必ず油斷致すな」小「心得ましてございます、なれども至急と申す譯にもなりませんから、十日の内に屹度取行つて御覽に入れまする」兵「然らば小助何分にも賴むぞ一と兵部殿の石川五衛右衛門無德道人といふものが秀次に賴まれて太閤秀吉の枕元にある千鳥の香爐を忍術を以つて奪ひに這入つた、是は千鳥の香爐を盗むばかりでなく次第に依れば秀吉を殺さうといふ心算で這入りましたので其の時には夜詰めをいたして居りましたる人の内に仙石權兵衛は一人目を覺して居りまして此の人も矢張り忍術を知つて居りまして變だなと思つて居りますと一人の曲者忍んで來た、權兵衛夫に飛び掛つて曲者ッと呼ばはりながら突然押へた石川五右衛門は南無三と思つたから權兵衛を取りくぢこうとしたが中々大力無双の權兵衛放さばこそ確かりと引組んだる儘に大音を揚げて、權「曲者這入つたり各々出會ひ候へ」といふ聲に驚いて夜詰めをいたして居りましたる者目を覺して見ると權兵衛一人角力取つて居る曲者を捕へたといふが對手の姿が見えないから驚いた、○「何をして居るのだ權兵衛」と尋ねて居るのか「權」稀を尋く所の始末ではない曲者を取り押へた」と云ふ内に遂々五右衛門の術は破れて大勢の爲め高手小手に縛められて、此者は都七條の河原で油の中へ投り込まれて天麩羅の元祖となりました、此の仙石權兵衛が自身に忍術を心得て居たから五右衛門の姿が見えたのでございます、眞田幸村は霧隱才藏と云ふ者を始終側に置き、上杉謙信も同じく忍術者を始終離さず手許に置きました

萬一の時役に立つべき忍術を能く致しまする菅野小助、豫て養ひ置きましたのが原田甲妻直則、此者に云ひ附けて御殿へ忍ばせ若君龜千代を害せんと計る、此小助と云ふ者は今年三十八歳で稚成り至つて小兵の人で、俄かに廣尾の屋敷へ招かれて是々斯々の次第に依り、忍び入つて龜千代の首を取つて奥れる樣にとの兵部殿よりの賴み、首尾能く往けば三千石遣はす當坐の褒美に三百圓を遣はすと云ふ事、小助は之を聞いて承知致し、小「必ず若舘の御首をかいて持參致しまする故御安心なさるやう」兵「必ず油斷致すな」小「心得ましてございます、なれども至急と申す譯

Dr. Takaoka
Medico e Operador

醫師　高岡專太郎
豐市　フアグンデス街八
電話　セントラル　四一八〇

Osaka Shosen kaisha

發着廣告
日本へ　ぱなま丸　リオ發十一月十五日　サントス發十一月十二日
日本より　しやとる丸　サントス着十一月六日　リオ着十一月四日
詳細は左記へ御照會下され度候
Antunes dos Santos e comp.
Rua José Bonifacio 17 S. Paulo
Rua 15 de Novembro 167 Santos
Wilson Sons & Co. Ltd
Av. Rio Branco 17 Rio

DR. M. SAÇADA
MEDICO E OPERADOR
C. Postal, 124 Est. Lins
Linha Noroeste

伯國リオ醫科大學醫學士
笹由正數
ノロエステ線リンス驛
郵國　一……二……四

Fujisaki & CO.
Rua São Bento, 68-A
Tel. Central—2788
Caixa, 344 São Paulo
日本雜貨
本店　リオデジヤネイロ
支店　ベルナンブーコ
支店　サンパウロ、ルア、サンベント六八・A
藤崎商會

FERNANDO HAKRDAT Co
Rua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 948 São Saulo,

肥料　肥料
作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫々別の肥料を差上ます、品物は極上有効です
四月十五日より一噸に付十ミル宛値上げす
日本人諸君には特に便宜を計ります
聖市　ルアサンベント三十三番二階七號室
フエルナンドハツクラト商會
九八四

側鹽節
干魚辛
K
三共商會
發賣元　サントス市ルア、セナドールダンタス五十番
電話　セントラル　三〇五四番
カイジヤ　三二八番

THE YOKOHAMA SPCIE BANK, LTD
Rua da Candelaria No. 23
Caixa No. 380
RIO DE JANEIRO
リオ、デ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

▲郷里送金▼
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子はコンバロール、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金御行勧定としてバンコ、コンメルシアルエスタード、デ、サンパウロ又は御便宜の方はバンコノロエステ、ド、エスタード、デ、サンパウロへ御拂込被下ても差支へ無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候

預金
日本貨定期預金利息　六ケ月以上年六分
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上年四分五厘　壹ケ年以上年五分
伯貨當座預金（小口）——年四分
預金通帳は書留郵便にて御送付可致
預送金用紙は御請求次第直に御送り可致
不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候
間申込之際最寄郵便局御指定相成候はは
御便宜に有之候
具敬

キリトリテ　チガミノヤ　エニハラル　ベシ